



さあ！夏休み

—今しかできない、今だからできる
何かチャレンジを！！—

(夏休み集会 学校長の話より)

明日からみなさんが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏休みは、37日あります。夏休みは、普段学校がある時にはない「自由な時間」が沢山あります。自分で考え行動できる時間です。この時間を、どう有意義に使うかをしっかり考えてください。小学校時代の「今しかできない、今だからできる何か」にチャレンジしてほしいと思います。

例えば、観察や実験、調べ学習です。「夏休み中、毎日時間を決めて生き物を観察する。」「条件を変えながら、いろいろな実験を積みかさねる。」「今までの学習で興味を持ったこと(歴史上の人物や日本各地の特産物、オリンピックの競技や歴史など)をいろいろな本で調べる。」これなら、宿題の一つである自由研究としてまとめることができます。何か興味のあることに、時間をかけて調べてみてはどうでしょう。

また、毎年言われていることだとは思いますが、読書をしましょう。難しい本でなくてもいいです。新聞や図鑑などで知識を深めるのもいいでしょう。マンガでもいいと思います。何かを読むことで、自分の知らないことを知り、もしかしたら本の中のたった一行の文章で、自分の見方が大きく変わることがあるかもしれません。

最後に、夏休みは、普段以上に人の移動が多いです。交通ルールに気を付けてください。公共の場(公園・道路・お店など)での行動に気をつけてほしいと思います。自分の身を守るだけでなく、周りの人にも気を配れるようになってください。

夏休みが終わった時、担任の先生や校長先生に「こんなことにチャレンジしたよ。」と教えてください。8月26日、元気なみなさんとの再会を楽しみにしています。

豊かな体験と心の充電

保護者のみなさま、地域のみなさま、この夏休み、子どもたちには、多くの出会いや体験をさせてほしいと願っています。初めての出会いや体験が、子どもの「夢」となり、子どもの新たな輝きになるかもしれません。ゲームから離れ、夢中になって取り組める素敵な何かが見つかるかもしれません。

生涯に1300以上の発明と技術革新を行った世界の発明王と呼ばれる「トーマス・エジソン」の名言の中に、『困るということは、次の新しい世界を発見する扉である』という言葉があります。成功体験も大切ですが、うまくいかずに困った時こそ、その先に子ども達の未来につながる新しい世界が広がるかもしれません。困ったときにすぐに手を差し伸べるのではなく、考える時間、工夫する時間を与えてあげてください。(少しのアドバイスはOKです。)失敗を積み重ね成功した時、自分で新しい扉を開くことができた時の感動は必ず子ども達の人生の糧となるはずです。どうぞ夏休みには、いろいろな出会いや体験をさせてあげてください。

とはいうものの、今年の夏も異常な暑さで、熱中症で緊急搬送されているニュースが後を絶ちません。コロナを含め、いろいろな感染症が流行しているのも気になるところです。日々の体調管理に気を付けていただければと思います。

夏休みは、楽しい反面、危険もいっぱいです。学校でルールを守ることと同様に、社会のマナーも学んでほしいと思います。37日という長期間、保護者の皆様、地域の皆様から社会のマナーを学んでほしいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

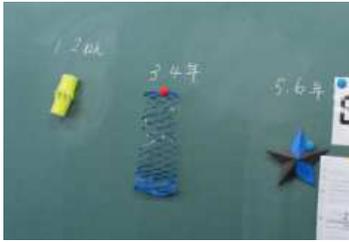


夏休み中の学校行事

7/26~7/31	サマーチャレンジ
8/5	登校日
8/13~16	学校閉庁日
8/26	夏休み明け集会

七夕集会

7月1日(月)児童会行事として、全校縦割りで七夕集会を行いました。縦割りのグループ単位で各教室に入り、開会はタブレットを用いてリモートで行いました。児童会役員が演じた七夕の劇を各教室で見た後、七夕クイズを行いました。七夕の学習ができるようにしっかり考えられた問題でした。



その後、各教室で短冊に願い事を書き、低中高学年ごとに違う飾りつけを作りました。書かれた短冊は、天の川に見立てたテープに貼り付け、児童玄関を入ったフリースペースの上に張っています。児童会も日々いろいろなことにチャレンジしています。

その後、各教室で短冊に願い事を書き、低中高学年ごとに違う飾りつけを作りました。書かれた短冊は、天の川に見立てたテープに貼り付け、児童玄関を入ったフリースペースの上に張っています。

《避難訓練・引き渡し訓練》

6月19日(水)地震・火災の避難訓練を行いました。この日は、訓練について総評をいただくために橋本北消防署から3名の方々に来ていただきました。

訓練では、『お・は・し・も』のルールをきちんと守り、避難できました。避難後、教員を対象に消火訓練を行いました。その様子を子ども達も見て、学習しました。隊員の方からも、教室での対応や避難の仕方について、ほめていただきました。「今度、授業中ではなく休憩時間など、自分で判断しないといけない時間帯に取り組んでみてください。」と助言をいただきました。

避難訓練終了後、引き渡し訓練を行いました。授業中に警報が発表されると仮定して、保護者の方々に迎えに来ていただく訓練です。

昨年度の運動会前に警報が発表され、引き渡しを行いました。その時は、迎えが集中し、オークワ付近まで迎えの車の行列ができ、1時間以上待ついただいた方もいらっしゃいました。今回の訓練では、時間差を設け、運動場を駐車場としました。徒歩でいらっしゃる方も多かったので、渋滞は起こりませんでした。実際に警報が発表されたり、大地震が起こったりした時にはどうなるのか予想はできませんが、訓練は引き続き行っていきたいと思います。

届けよう 服のチカラ

プロジェクト

6月22日(木)今年もユニクロから2名の方に来ていただき、5年生が『届けよう 服のチカラ プロジェクト』について説明していただきました。

自分たちは、理由を考えず着ている服ですが、「服は何のために必要なのか？」から授業が始まり、服の持つ様々な力について考えることができました。そして、自分たちの服が世界の人々の役に立つことを知りました。そこで、あやの台小学校では子供服を集め、ユニクロ、そして国連を通して難民キャンプに送る活動にここ数年取り組んでいます。服の集め方については、5年生が中心となり各家庭・地域に伝えていけたらと考えています。

持続可能な世界のために自分たちができることを考え、行動していくESD活動の一環として進めています。

難民の人たちは、家族を失ったり、まずしい生活をしているのに明るくてすこいと思ふ。私達にできる事。
例えば、服をとどけたり、ほきんをしたりしようと思ふ。
そして私達があたり前のように着てる服は、
寒さをのりえたり、体を守ったり、所属や気持ちを表せるかいとも大切な物なんだと感じた。
世界には、人種や宗教などで苦しい思いをしている人が少しでも、幸せになれるように、私ができる事はしようと思ふ。そのも、いろいろな服の大切さをしたらいいなと思ふ。

防災キャンプに向けて

7月8日連合自治会の加賀谷さん、甲斐さん、一丁目自治会の森脇さんと今年度の防災キャンプについて、2回目の打ち合わせをしました。

昨年度、自治会が中心となって防災キャンプをしていただきました。今年度も自治会が主となっていくつかの体験コーナーを作り、プラスアルファの事も検討していただいているところです。学校としては、関連部署との日程調整等をお任せでき、ありがたい事ばかりです。子ども達にとって、よい体験ができることを楽しみにしています。